

プラごみクジラ「海守れ」—— 米芸術家制作



オランダ中部ユトレヒトの運河に展示された、プラスチックごみで作られたクジラ

運河でクジラがジャンプ。主に米ハワイの海岸に打ち上げられたプラスチックごみなどを用いて米芸術家が制作した高さ11層のクジラが、オランダ中部ユトレヒトの運河で展示されている。プラスチック消費を減らし、海を守るよう訴えている。

世界各地でプラスチックごみによる海洋汚染が問題化。10日には、有害ごみの輸出入を規制するバーゼル条約の対象に汚れたプラスチックごみを加える改正案が採択された。

作品に使われたプラスチックは米国や中国、ロシア、韓国、中南米など世界中から漂着。岩手県や宮城県の漁業関係組織とみられる名前が書かれた箱もあった。(ユトレヒト共同)

問題

- ①このクジラは、主にどこの海岸に打ち上げられたプラごみで作られたのでしょうか。
- ②プラごみの海洋汚染が問題となり、有害ごみの輸出入を規制する条約が改正されましたが、何という条約でしょうか。

(小学校高学年、中学校／朝の会、総合学習の時間など)

出題者から

海に漂うプラスチックのごみが細かくなり、マイクロプラスチックとして生き物の体の中に取り込まれやすくなっていることが、近年大きな問題となっています。このクジラの作品には、日本から来たものも多くあるかもしれません。この問題について、ぜひ皆さんも考えてみてください。

(日本新聞協会NIEアドバイザー・宮城県図書館主幹 坂本謙)

6月16日こども新聞7面かほくワークシート回答

設問

- 1 このクジラは、主にどこの海岸で打ち上げられたプラスチックで作られたのでしょうか。
(**ハワイ**)
- 2 プラスチックの海洋汚染が問題となり、有害ごみの輸出入を規制する条約が改正されましたが、何という条約でしょうか。
(**バーゼル**) 条約